



WEB ページ <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/higashinakada/>

1 月 号

令和3年 1月 8日

横浜市立東中田小学校

校長 天野 直美

TEL.802-0500 FAX.801-4089

## 修学旅行で自分づくり

校長 天野 直美

日光の見どころは、いろは坂を登った「上」と二社一寺がある「下」に分かれます。私は「上」の自然散策が大好きなのですが、今回は悪天候になることも予想し、いろは坂を登り切ったところにある「華厳の滝」だけを見ることになりました。なんとそこで滝つぼの脇にたたずむ天然記念物の「カモシカ」を見ることができたのです。「もののけ姫」のしし神のごとく、荘厳な姿でした。「下」の見学では世界遺産である「輪王寺」「日光東照宮」「二荒山神社」を巡ったわけですが、驚いたことに小学校の団体は東中田小だけで、いつもは速足で見学する建物一つ一つをじっくり観ることができました。輪王寺から東照宮陽明門のところまでガイドさんに解説をしていただきながら進むのですが、2組のガイドさんは旅番組などによく出演するみのもんたさんに似たカリスマガイドの「春日さん」でした。春日さんがガイドをしていると近くの観光客も自然に足を止めて春日さんの話に耳を傾けます。みんな春日さんの話にどんどん引き込まれました。子どもたちは事前学習したことを思い出しながら真剣に聞いていました。2日間雨も降らず、暖かく、あらかじめ用意していた防寒具等もほとんど使わずに済みました。重ね重ねラッキーな2日間でした。

6年生が日頃の生活で周囲を気遣いながら行動することの大事さを学び、成長していることを修学旅行で感じ取る場面に遭遇しました。帰りのバスレクでの出来事です。聞きたい曲のリクエストコーナーで一人の子どもがリクエストをしました。すると他の誰かがすぐに「いいね。」と言いました。リクエストをした子は個別支援学級の子どもで、「いいね。」と返したのは一般学級の子どもでした。子どもたちが普段の交流の中で、どの子ともつながって楽しく過ごせるようになっていたこと、そして「誰もが安心して豊かに」のその場面が修学旅行で見られたことにとっても感激しました。

今年度より新教育課程により子どもたちは学んでいます。本校では柱になる資質・能力を「自分づくりに関する力」とし、6年間で育てようとして取り組み始めました。6年生は修学旅行のめあてをもつときも、「自分づくりに関する力」の中から選択して、「修学旅行」というプロジェクトに取り組んできました。中田寺の駐車場で行った到着式で、代表の子が自分のめあてと取組、反省を地に足を付けて述べている姿から、修学旅行のことを単に考えるのではなく、自分自身が成長するための「自分づくり」に取り組む一つの機会ととらえている様子がみられました。この取組と成長、課題等を「キャリアパスポート」に書き溜めていきます。「キャリアパスポート」は中学校にも引き継がれます。「成長の姿」を系統的に記した表が「ぐるぐる」です。これを子どもたちにわかってもらうため、各教室で掲示物を工夫したり話して聞かせたりして、先生方は奮闘してきました。修学旅行での6年生の姿を見て、子どもたちも分かってきたのだと実感することができました。次は地域・保護者の皆様に分かってもらうことが必要だと思っております。「生きる力」を根底に据えること。それが本校の「自分づくり」なのです。



個別支援学級の野菜が見事